

修士論文執筆要領（社会福祉学分野）

1. 分量

本文・注・文献リスト・図表を合計して、40,000 字程度を目安とする。

2. 執筆言語

日本語を原則とする。

3. 要旨

日本語（500 字程度）と英語（300 単語程度）をそれぞれ添付する。次にキーワードを日本語と英語でそれぞれ列記する（5つ以内）。修士論文の日本語題目と英語題目・専攻・分野・学籍番号・名前・論文提出年月日を記入すること。英語要旨の作成にあたっては、当該分野の学術英語に精通した者による校閲を受けなければならない。

4. 装丁

1) 用紙は白の A4 とする。用紙の片面にのみ印刷する。

2) 生協製 A4 ファイル（黄色）に綴じる。

3) ファイルの表紙に、修士論文の日本語題目と英語題目・専攻・分野・学籍番号・名前・論文提出年月日、背表紙に修士論文題目・名前を記す。

（別紙 修士論文提出用ファイル貼付題目用紙を貼付）

5. 書式

1) 横書きとする。ページの余白は、上下左右 30mm とする。1 ページあたりの文字数は、40 字×40 行とする。

2) 和文は 10.5 ポイント明朝体、欧文は 10.5 ポイント Times New Roman を原則とする。

3) 文章は、平明な口語体「…である」調、現代かなづかい、常用漢字を用いる。和文句読点・記号は全角とする。句読点は「、」と「。」に統一する。数字は、原則として算用数字を使用し、漢数字の使用は「第一歩」「一生」などのように漢数字を用いないと不自然な場合に限る。

4) ページ番号は、各ページの下部中央に印字する。ただし、ページ数は「本文」冒頭から付し、それ以前の部分にはローマ数字の小文字を付す。引用文献リストには本文からの通しでページ数を付す。

6. 構成

1) 中表紙には、修士論文の日本語題目と英語題目・専攻・分野・学籍番号・名前・論文提出年月日を記入する。

2) 表紙の次に、目次をおく。目次には、章・節ごとのページ数を記入する。

3) 目次のあと、改ページをし、本文を開始する。

4) 本文の最初のページを、1 ページとする。

5) 章が終わると、改ページをする。節が終わると、少なくとも 1 行あける。

<参考資料：修士論文中における図表・注・引用などの標準的な記載例>

1. 図表

①表番号とタイトル：表には、表 4-1、表 4-2 などと各章ごとに番号をふり、表頭中央に題名をつける。表の題名はゴシック体とする。(表 4-2 とは、4 章で 2 番目に出てくる表であることを示す。)

例

表 4-2 国別の若年失業率

出典：厚生労働省**研究所（2001:105）

②図番号とタイトル：図には、図 4-1、図 4-2 などと各章ごとに番号をふり、図下中央に題名をつける。図の題名はゴシック体とする。表と図でタイトルの位置が反対になるのは、表と図では情報を読み取る際の目線の動かし方が異なるためである。

例

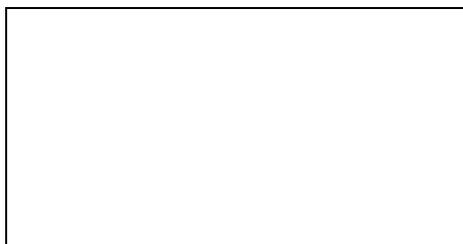


図 4-2 国別の若年失業率の変化

厚生労働省**研究所（2001：105）をもとに作成

③出典の明記：データ類を他の文献からそのまま引用する場合には、図表の下部に「出典：厚生省人口問題研究所（1998）」のように、文献を典拠として示し、引用文献リストに記載する。執筆者が集計・加工した場合には、「厚生省人口問題研究所（1998）をもとに作成」などと記載する。

④図表の示し方：図表は、本文中に挿入してもよいし、1 点ごとに別紙に印字し、次のページに置いてよい（本文中に挿入せず図表のみを印字した用紙にはページ数は付さないこと）

2. 注

注は、本文中の当該箇所を上付き文字で 1) と半角でナンバーをふる。注の文章は、各章末の本文末尾に 1 行空け、【注】としてまとめて記載する。

3. 本文中の文献の引用

典拠とした文献を示すときは、本文中の適切な箇所に全角丸カッコ（著者の姓 出版年）と記載する。著者の姓と出版年とのあいだには半角スペースを入れる。同姓著者が複数存在する場合は、識別されるよう名を入れる。

引用を行なった場合は、（著者の姓 出版年：引用ページ数）とする。出版年と引用ページ数のあいだに全角の「：」を入れる。引用ページが複数にわたる場合、重複する位の数字も記載し、始ページと終ページをハイフンでつなぐ。

共著・共編・共訳の場合には、二人であれば姓を「・」もしくは「&」でつなぎ、三人以上であればファースト・オーサー以外は「ほか」「et al.」とする。

複数の著者の文献を参照した場合は（著者姓 出版年；著者姓 出版年）というように全角の「；」でつなぐ。

原著と訳書の双方を参照した場合は（原著者姓 原著の出版年＝訳書の出版年）というように全角の「＝」でつなぐ。いずれか一方しか参照していない場合は、参照した文献のみを示す。

4. 文献からの引用文

短い引用は「」（欧文の場合は ” ）でくくる。数行にわたる長い引用の場合は、その前後を1行ずつ空け、行頭を2文字下げて本文と区別する。

5. 人名

人名は初出時にフルネームで原語表記する。

6. 引用文献リスト

文献リストは、本文末に1行空けて【参考文献】とし、著者（編者のみの場合は編者）の姓のアルファベット（ABC）順に、論文末尾に並べる。同一著者の複数の文献を並べる場合は、二つめ以降の文献の氏名のかわりに4倍ダッシュ（————）を用いる。同一著者による同一出版年の文献が複数ある場合は、出版年の末尾に小文字アルファベットをaから順につけて区別する。ただし、文献が複数言語にわたる場合、言語別に文献をまとめ、その言語における姓の音順（日本語なら50音順、英語ならABC順）としても良い。

・和文図書……編著者名 出版年 『書名』 出版社名。出版年の前後に全角スペースを入れる。

加藤佑治 1987 『現代日本における不安定就業労働者（増補版）』 御茶の水書房

・和文論文……著者名 出版年 「論文名」（図書の場合は編者名）『雑誌名もしくは書名』 巻号：論文の始ページ-終ページ。出版年の前後に全角スペースを入れる。

佐藤嘉倫 1998 「合理的選択理論批判の論理構造とその問題点」『社会学評論』49(2)：188-205

船橋晴俊 1998 「環境問題の未来と社会変動——社会の自己破壊性と自己組織性」 船橋晴俊・飯島伸子編『講座社会学 12 環境』 東京大学出版会：191-224

・欧文図書……編著者姓，名(ファーストネーム ミドルネーム)．出版年，タイトル(イタリック体)．出版都市名：出版社名．出版都市名と出版社名を区切るコロンの前後にはスペースを入れない．訳書を参照した場合は続けて、＝翻訳の出版年 訳者名訳『訳書のタイトル』出版社名を入れる。

(単著)

Broadbent, Jeffrey. 1998, *Environmental Politics in Japan: Networks of Power and Protest*. New York:Cambridge University Press.

(編著)

Rubington, Earl and Martin Weinberg (eds.). 1965, *Deviance: The International Perspective*. New York: Macmillan.

(単著の訳書を参照した場合)

Fromm, Erich. 1941, *Escape from Freedom*. New York:Reinhart and Winston. =1951 日高六郎訳『自由からの逃走』東京創元社

・欧雑誌論文……著者姓，名(ファーストネーム ミドルネーム)．出版年，‘論文タイトル’，雑誌タイトル(イタリック体)，巻号:始ページ-終ページ．巻号とページ数を区切るコロンの前後にはスペースを入れない。

Butler, Judith. 2002, ‘Is Kinship Always Already Heterosexual?’ , *Differences*, 13(1):14-44.

・調査報告書……研究代表者名 刊行年 『研究課題名』〇〇年度科学研究費補助金研究成果報告書 研究機関名．刊行年の前後、研究機関名の前に全角スペースを入れる．科学研究費によるもの以外の調査報告書もこれに準ずる。

・政府刊行物……編集機関名 刊行年 『タイトル』発行元．刊行年の前後に全角スペースを入れる．政府刊行物については、発行元が「(独立行政法人) 国立印刷局」の場合、発行元の記載を省略してよい。

経済企画庁 1994 『国民生活白書 (平成6年版)』.

・電子情報……著者名、URL (アクセス年月日)。

紙媒体で入手可能なものについて、安易に電子情報を引用しないこと。引用する場合は、必ずサイト運営者による注意書きをよく読み、「引用・転載可」であることを確認すること。また、インターネットで入手した資料・文献が全引用文献リストの大半を占めることがないよう、目安として3分の1を超えないようにすること。さらには、口頭試問の際に提示が求められることなどがあるため、必ず引用箇所を印刷し、手元に保管しておくこと。